



# 西武新宿線立体化促進協議会が発足！

～ 鉄道立体化の早期実現に向けて～

と き 1月25日(日) 午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

ところ 区立上石神井小学校 体育館(練馬区上石神井4-10-9)

25日、西武新宿線の立体化の早期実現に向けて、沿線住民など約200人の方々が集まり、「西武新宿線立体化促進協議会」の結成大会が開催され、会長に前川耀男区長が就任しました。

大会では、地域の地元選出の衆議院議員、都議会議員、東京都の関係部局の幹部、西武鉄道株式会社、隣接区市等を来賓に迎え、力強く結成宣言が行われ、鉄道立体化の早期実現に向けて、区民、区議会、区が一体となって、国や東京都、鉄道事業者に対し、要請活動等に取り組むことが確認されました。

当日は、現在の踏切の状況を撮影した写真などのパネルをご覧いただいたり、練馬区公式アニメキャラクターとの写真撮影を楽しむ姿も見られました。



【前川区長の挨拶の様子】

## 【現状】

区内の西武新宿線には、13箇所の踏切が存在し、交通渋滞の発生や、踏切事故の危険性、地域の分断による生活の不便や沿線地域のまちづくりの遅れなどの問題を引き起こしています。

複数の踏切を同時に除却することで道路ネットワーク形成を促進し、地域の活性化にも資する連続立体交差化が求められます。



【会場の様子】

## 【区内全区間を含む井荻～東伏見駅付近について】

区内全区間を含む、井荻～東伏見駅付近について、東京都は、平成16年6月策定の「踏切対策基本方針」において、「鉄道立体化の検討対象区間」として位置付けました。平成20年6月には、この区間を、連続立体交差事業の「事業候補区間」に位置付け、事業化に向けた取組を進めるとしています。

## 【外環の2の整備】

昨年11月、東京都は、交差する西武新宿線の立体化を前提に、外環の2の都市計画の変更を決定しました。上石神井駅の西側には、5千平方メートルの交通広場を設置する計画となっています。外環の2は、街路樹を充実し、広い歩道と自転車道を整備する計画となっています。

## 【鉄道立体化の早期実現に向けた、区のこれまでの取り組み】

鉄道立体化の実現にあたっては、周辺の道路や駅前広場の整備など、沿線のまちづくりを一体的、総合的に進めることが重要です。上井草駅、上石神井駅、武蔵関駅の3駅の周辺地区では、それぞれ、地域住民によるまちづくり協議会において、鉄道立体化を見据えたまちづくりの方向性が取りまとめられました。区は、これを受けて、各駅周辺地区の「まちづくり構想」を策定し、これらの構想の実現に向けたまちづくりの検討を地域の皆様と一緒に進めています。



【会場の様子(ねり丸)】

## 【問い合わせ】

環境まちづくり事業本部 都市整備部 交通企画課 交通企画担当係 電話 03-5984-1274

## 西武新宿線立体化促進協議会結成宣言

区内の西武新宿線には、13箇所の踏切が存在し、交通渋滞の発生や、踏切事故の危険性、地域の分断による生活の不便や沿線地域のまちづくりの遅れなどの問題を引き起こしている。西武新宿線の区内全区間を含む、井荻から東伏見駅付近の鉄道立体化の早期実現と「外環の2」を始めとした南北道路の整備等にあわせた沿線地域におけるまちづくりの推進を図るため、区民、区議会、区が一体となって、地域の力を結集し、区を挙げて取り組むことが重要である。

ここに、区民、区議会、区が継続的に広範な運動を展開していくため、西武新宿線立体化促進協議会を結成する。

西武新宿線立体化促進協議会の構成員 ( )内は人数

- ・会 長：区長
- ・副会長：区議会議長、地元団体の代表(5)、副区長
- ・顧 問：区議会議員の有志
- ・構成員：町会・自治会、商店会、小・中学校PTA (31)